

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27-B-2					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 火山灰物 炭質土 貝化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	12.33m			盛土	砂	10YR 5/6 黄褐	<p>12.33~12.75m 礫率70~80%でクワリ礫を多く含む。                      礫種はGpの一部Ap礫礫径は2~100mmで一部最大径200mmの礫が認められる。                      ・歪角礫が主体。                      ・12.68~12.80m付近にマ・カン濃集部が認められる。</p>
	12.75m			砂	砂礫	10YR 4/4 褐	
	13.00m			砂	砂礫	10YR 5/1 褐灰	
	13.53m			砂	砂礫	2.5YR 6/4 緑	
	14.00m					15.5mm 粒	<p>12.75~13.00m 礫率5~10%でクワリ礫を多く含む。                      礫種はGp礫礫径は2~10mm。                      ・歪角礫が主体</p>
	15.00m						青岩
	16.00m						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
 境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名

孔番・深度

H27B-2 (10 ~ 15)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
11.00m												
12.00m												
13.00m												
	13.53m			7.5YR 7/3 R3.5 橙					3			
14.00m	14.00		GP	10YR 7/3 =3.1 黄橙	C-V	D-8			3	CL		
15.00	14.89m								3			
	14.89m											
	15.00m											

「細部観察率の参照」

↑  
13.53 ~ 14.00m : CL  
この「D」は1mの、0.5 ~ 3.0割れ目が多い。全体的に風化し、一部の割れ目には砂状化が進む。

14.91m ~~付~~ 幅4mで傾斜15°の石英脈が認められる。  
5本。

14.55 ~ 14.68m ~~付~~ 割れ目沿いにマンガンの濃集部が認められる。一部(14.55 ~ 14.65m)で土砂化が生じている。

14.89 ~ 15.00m スライムのため判別不可

調査名

孔番・深度

H27B-2 (15 ~ 20)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質	ROD				
	15.09		スライム	7.5YR 7/2 明緑灰	x	x	x	x	x	x	x	x		15.00 ~ 15.09m スライムのため判別不可
													CL	15.62 ~ 15.66m <del>細</del> 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
														15.80 ~ 16.00m <del>細</del> 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
16.00m					C	D					0	3		
														16.50 ~ 16.51m <del>細</del> 割れ目に沿って緑泥石が発達
														16.76 ~ 16.86m <del>細</del> マンガン濃集部が密集して
17.00m														16.92 ~ 16.93m <del>細</del> 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
	17.16		GpV		x	x	δ	3					CL	17.10m <del>細</del> 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり 17.16m 以上は深部割れ目から付着
05														17.59 ~ 17.64m <del>細</del> 割れ目に沿って緑泥石が発達
														17.90 ~ 17.80m <del>細</del> 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
														17.90 ~ 17.94m <del>細</del> 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
18.00m					C	IV	D							
05														
	18.59			7.5YR 7/4 明緑 橙										
19.00m														
05														
	19.59				x	x								19.59 ~ 19.80m 10% 粒度100μm以下 の200μm 石英と付着 19.70m 以上は深部割れ目から付着して緑泥石
	19.70				x	x	D	δ	3					
	19.80				x	x								
20.00m				7.5YR 7/2 明緑灰	C	IV	D	δ						

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (20 ~ 25)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 20 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	0.5											
	21				IV	D	S	3	12	12		
	0.5											
	21.79											
	22		Gp	25YR 7/2 明褐色					0	8		
	0.5											
	23				C	C	γ	3	23	23		
	0.5											
	24								27	15		
	0.5											
	25								0	7		

20.90 m 割れ目径約 10% 砂化。

21.90 m 10% 石英 80% 割れ目 (径) 2-2.5 mm (2-2.10/m)

21.79 ~ 22.82 m 硬さ「C」の主体である  
硬さ「D」も含まれる両者の交互に出現する。  
割れ目径は風化・砂化の部分が多い。

22.18 ~ 22.49 m 硬さ「B」の硬質

23.52 ~ 30 と 23.82 ~ 20 m 割れ目径 2-1.5 mm  
円筒状の灰褐色粘土脈あり。

調査名

孔番・深度

427 B-2 (25 ~ 30)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 25 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	05										
	26								3		
	05								11	11	
	26.82		Gp		2.5R 1/2 明揚灰	x	x		0	7	C2
	27										
	05										
	28								0	9	
	05										
	29								b	3	
	05										
	29.88										
30	30.00										

25.31m 20°割れ目状に 40.5% ~ 1% を微細な雲  
石 (7144?) の晶出 (2nd).

25.84m 74°の割れ目(5j) は交差角 5~10° 割れ目  
26.22m (右2L、量位量 1~3%)

26.82m 以降は硬2Dの主体と判.

27.15m 65° 割れ目に幅 2~3% 軟質浸染に灰白  
結晶は判.

28.91m 20° 幅 1% 石英脈の交差角 85° 地割れ目(5j)  
28.22V 1% の引込みの形に雲石 (2nd) (右2L  
120g)

28.02m 以降 10% 10j 層の地割れ目・発達し  
序状~碎粒化 (2nd).

割れ目状に地割れ目化 2nd 2nd.

29.88 ~ 30.00 2V/D 10% 2F 2nd

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
05	32.10		G5	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓	ε	3		D	同様に割れ目等に砂化れ、加工(2m)。 φ2~30%の深さで「C」部が多量に認められ、粘土「砂 破砕」に呈す。 基質は砂状部が主体で砂質、灰色粘土部が散在し る。 岩組織上部の割れ目は滑溜(2m)。	
	30.70			10YR 7/2 黄褐色	✓	✓	✓	δ	3	✓	3		CL
05	31.15		G5	25YR 7/3 灰褐色	✓	✓	✓	δ	4		HJ Hb Hc-2	31.15 ~ 31.66 m : 破砕帯 (主断面 31.29m) 31.15 ~ 31.34 m : HJ 上部20°直線的、下部15~20°で湾曲(連続)。一部粘土化 φ5~10%の粘土と岩内面の粘土(幅1~2% 粘土部が3 割)「粘土混じり粘土」に呈す。色調は10YR 7/2 厚さ10~20% 31.24 ~ 31.28 m / Hb 上部15~20°で湾曲(2)、下部30°で湾曲して連続。φ2~3% 石英粒、φ5~10%の粘土と粘土(粘土部計20~30%を含む 固形物の「粘土混じり粘土」に呈す。色調は明褐色(25YR 7/2)、 厚さ20~30% 31.28 ~ 31.29 m / Hc-2 30°で上部湾曲して、下部は直線的に連続。φ2~3% 石英粒、ε10~20%含む粘土(粘土部)。色調は灰褐色(10YR 7/2)、 厚さ5~10% 31.29 ~ 31.66 m / HJ 上部30°で直線的に、下部30°で湾曲して連続。φ5~20% 深さで「粘土混じり粘土」に呈す。色調は10YR 7/2、 厚さ35% (2m)。	
	31.66			25YR 7/2 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3	✓	2	CL	31.66 ~ 31.78 m : Hb 上部30°で直線的に、下部30°で湾曲して連続。φ5~20% 深さで「粘土混じり粘土」に呈す。色調は10YR 7/2、 厚さ35% (2m)。
05	31.78		G5	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓	ε	3			D	31.78 ~ 34.37 : D 同様に割れ目等に砂化れ、加工(2m) 岩組織は滑溜(2m)、割れ目は滑溜(2m)に呈す。 色調は10YR 7/2 粘土混じり粘土に呈す。
	32.56			25YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓	ε	3	✓	1	D	33.00 ~ 33.25 : 粘土化連片、岩組織不明瞭に呈す。 33.35 ~ 33.4 m : 粘土「砂」の粘土主体。 33.60 m : 5%以下粘土部が粘土混じり粘土 33.77 m : 粘土5~10%程度の粘土部が粘土混じり粘土に呈す。 33.79 ~ 33.87 m : 粘土「砂」の粘土主体
05	33.96		G5	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓	ε	3	✓	2	D	33.96 m : 粘土混じり粘土の粘土主体、割れ目一部は滑溜(2m)に呈す。
	34.37			25YR 5/3 浅黄	✓	✓	✓	δ	4		Hc1 Hb	34.37 ~ 34.40 m : 破砕帯 (主断面 34.37m) 34.37 m / Hc-1 13°で上部直線的、下部湾曲して連続。φ2%石英粒が粘土 (5%以下)を含む粘土(粘土部)。粘土は75%の粘土混 じり粘土に呈す。色調は10YR 7/2、厚さ20% 色調は粘土(10YR 7/2)、厚さ20% 34.37 ~ 34.40 m / Hb 上部13°で湾曲して、下部20°で直線的に連続。φ2~3%石英粒	
05	34.40		G5	25YR 5/3 浅黄	✓	✓	✓	δ	3	✓	3	CL	
	34.98			25YR 5/3 浅黄	✓	✓	✓	δ	3	✓	3	CL	









# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
0.5				2.5YR 7/3 白濁	✓ c	✓ IV	✓ c	δ	2				49.00 ~ 49.34 m: 割れ目なしに風化の砂状化の連続。コアは 7割以上4割程度に砕かれ、外周は砕片コアに属(2)。 割れ目なしに風化の砂状化の連続。岩質割れ目あり 2.112の割れ目がある。 2.112の割れ目の連続。風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。
51										✓ 10	✓ 10		49.34 ~ 50.67 m: 2.112の連続。上下端は砂状化した。
0.5	50.51				X							CL✓	50.67 ~ 51.15 m: 上下端は砂状化の連続。割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。中10~30%程度に砕片を含有する砂状化の連続。 2.112の連続。
52			Gp	10YR 7/3 白濁	✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3	✓ 10	✓ 9		51.15 ~ 51.50 m: 上下端は砂状化の連続。割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。中10~30%程度に砕片を含有する砂状化の連続。 2.112の連続。
0.5	52.42				X								51.50 ~ 52.18 m: 上下端は砂状化の連続。割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。中10~30%程度に砕片を含有する砂状化の連続。 2.112の連続。
53					✓ c	✓ IV	✓ D	δ	2			CM✓	52.18 ~ 52.22 m: 細粒混り粗粒砂。水浸す。
0.5	52.99				X					✓ 11	✓ 11		52.22 ~ 52.42 m: CM 割れ目なしに風化の砂状化の連続。一部は岩質の連続。割れ目なしに 2.112の連続。 割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。
0.5	53.20				✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3			CL✓	52.42 ~ 52.99 m: CL 割れ目なしに風化の砂状化の連続。一部は岩質の連続。割れ目なしに 2.112の連続。 割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。
0.5	53.55				✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3			D✓	52.99 ~ 53.20 m: CL 割れ目なしに風化の砂状化の連続。一部は岩質の連続。割れ目なしに 2.112の連続。 割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。
0.5	54.10			2.5YR 7/3 白濁	✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3			CL✓	53.20 ~ 53.55 m: D 岩質の連続。割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。中10~30%程度に砕片を含有する砂状化の連続。 2.112の連続。
0.5	54.60				✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3			CL✓	53.55 ~ 54.10 m: CL 一部は砂状化の連続。割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。中10~30%程度に砕片を含有する砂状化の連続。 2.112の連続。
0.5	54.72				✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3			CL✓	54.10 ~ 54.72 m: D 風化の砂状化の連続。割れ目なしに風化の砂状化の連続。Dに連続して 2.112の連続。中10~30%程度に砕片を含有する砂状化の連続。 2.112の連続。
0.5	54.77				✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3			CL✓	54.72 ~ 54.77 m: 破砕帯 (主に割れ目。54.77 m)
0.5	55.00			2.5YR 7/3 白濁	✓ c	✓ IV	✓ D	δ	4	✓ 0	✓ 4		54.77 ~ 54.97 m: H6 上端60°傾斜。下部39°連続的に連続。中2~4%程度に砕片を含有する砂状化の連続。 2.112の連続。

48  
51  
↑

↓  
53D  
57  
54  
5  
57





調査名

孔番・深度

H27 B-2 (65 ~ 70)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 65 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
65	65.18		Gp	2.5YR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2		✓	CH	64.63 ~ 63.73 m 上端45% 下端50% 割れ目状の片状~角状の砂岩。粘土質の砂岩部も分布する。 65.18 ~ 65.36 m = D 割れ目状の砂岩。粘土質の砂岩部も分布する。 65.36 ~ 68.27 m : CL 粘板状の砂岩。割れ目状の砂岩。透水性が低い。 粘板状の砂岩は粘土と含まない。 上端部と下部部は縦柱状の主体、中部は片状の主体の一部割れ目状の砂岩に変わる。 65.96 ~ 66.0 / m は砂岩化の進んだもの。 65.00 ~ 65.17 m 長柱状の砂岩(長さ17cm) 66.20 ~ 68.01 m 上下部は粘土質の砂岩に変わる。 66.39 ~ 66.65 m 割れ目状の砂岩に変わる。 66.39 ~ 66.44 m 砂岩の一部割れ目状の砂岩に変わる。 66.65 ~ 67.00 m 硬く、割れ目状の砂岩に変わる。
	65.36				✓	✓	✓	β	2		✓	DV	
	65.27					✓	✓	✓	β	2			
66	65.98		Gp	2.5YR 2/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓	✓		67.00 ~ 67.46 m 落下した砂岩の塊(2cm) 67.48 ~ 67.63 m 長柱状の砂岩(長さ15cm) 67.65 ~ 68.01 m 硬く、割れ目状の砂岩に変わる。 68.01 m 以上は割れ目状の砂岩に変わる。
	66.20				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
	66.39				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
67	66.65		Gp	2.5YR 2/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓	✓	CL	68.27 ~ 68.34 m : 破砕帯(主断面68.27m) 68.34 ~ 68.37 m : Hc-1 90°と上下端の直線的に連続。粘土質の砂岩に少量(5%以下)含む軟弱粘土(砂岩)。透水性は低い(2.5YR 2/2)。厚さ1~2cm 68.27 ~ 68.34 m : Hc-1 上端40°と直線的に、下端90°と湾曲(一部、灰黄褐(11/2)幅)の軟弱粘土に連続。主断面と同方向の割れ目とこれに垂直に割れ目とが10%に分布。粘板状の砂岩の一部幅1cm 白~淡黄色軟弱粘土(砂岩)の粘板状の砂岩に変わる。透水性は低い(2.5YR 2/2)。厚さ65cm 68.34 ~ 69.69 m : CM 硬く、割れ目状の砂岩。一部は長柱状の砂岩に変わる。塊状の砂岩。69.30 ~ 69.40 m の90°割れ目状の砂岩に変わる。 69.34 ~ 69.38 m は粘板状の砂岩。
	66.98				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
	66.75				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
68	68.01		Gp	2.5YR 2/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓	✓		69.69 ~ 69.95 m : CL 69.01 ~ 69.95 m は割れ目状の砂岩に変わる。透水性は低い(2.5YR 2/2)。 69.95 ~ 70.06 m : CM
	68.27				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
	68.34				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
69	69.00		Gp	2.5YR 2/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓	✓	CM	69.95 ~ 70.06 m : CM
	69.27				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
	69.34				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
70	69.69		Gp	2.5YR 2/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓	✓	CM	70.06 ~ 70.12 m : CM
	69.95				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
	70.06				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		

↑  
↓  
56P  
66  
5  
69

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
0.5					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2			CM	
71	71.06			2.5YR 6/2 灰褐	✓ c	✓ D	δ		3	✓ 37	✓ 13	CL	
0.5			Gp										
72	71.58									✓ 11	✓ 11		
0.5													
73					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 26	✓ 15	CM	
0.5													
74										✓ 18	✓ 18		
0.5													
75										✓ 0	✓ 0		

割れ目には粘土と鉄在物は分布しないが、22.65~57°と70.70~60°割れ目に固まって片状化す。  
前者の割れ目は断面に幅1~2cm片状化。φ0.5~1mmの塵土(粘土)の混入は認めない。

71.06~71.58m : CL  
30°と60~75°割れ目が交差し、交差部の一部では厚さ10~60%で碎れ部状~砂岩状を呈す。  
粘土化部も点状認められる。

71.58~72.11m : CM  
一部で同様の片状部を幅2~3%で挟む。塊状物は分布して割れ目が多い。

72.48m~74.57m 割れ目には褐色化進んだ石炭質の粘土化を呈す。

74.57~75.16m は長さ10cm以上の硬質コア主体

75.20~75.00°は20~30°と60~70°割れ目の交差。交差部の一部で片状~角状化部~砂岩部で粘土部は伴わない。

74.85~75.00m 割れ目には粘土の混入を認めない。

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (75 ~ 80)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 75 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05					6	IV	B	β	2		CM	
76	76.01			25YR b/2 圧縮						27	27	
05					c	V	B	γ	2		CL	76.11 ~ 77.02 m: CL 割れ目の交差は10~30%の片状に解理化し、 若干角質は硬質で、色は赤い。 一部の割れ目は1~2%の細碎粒に幅10%以下で 開いたもの、砂や粘土は存在しない。 全体は長石の白濁化が主。
77	77.02		Gp					02		0	9	
05										27	15	77.02 ~ 79.47 m: CM 全体的に硬質であるが、77.43 m ~ 78.00 m 10%程度の 粘層の低い割れ目が多く、10~20%の碎粒で10%前後 に含浸、細片化し易い。 板、同層間は割れ目のマコン軟層と平行割れ目の間の 一部は黒褐色化する。 77.21 m 交差する種の割れ目の一部で、幅2~3%の砂状化が 砂状部は割れ目全体に連続しない。
78					6	IV	B	β	2		CM	78 m 以下は長10cm前後のコアの連続は少ない、一部は粘 層の低い割れ目を含むものあり。 78.40 m 割れ目によるマコン軟層あり。
05										15	15	79 m 以下は長石結晶の白濁化が多い。 79.10 m. 40°割れ目の幅10~15%が深緑色化、 面方向で0.5~1m以下の微細な層(セリサイト)が分布する。
79	79.00											
05	79.67				c	V	C	γ	3		CL	79.47 ~ 80.19 m: CL 30~50°と70°割れ目の交差、交差部の一部で10%程度の 粗片化。 70°割れ目の一部は幅2~3%の浸染~粘状粘土層を含む。 79.83 ~ 79.90 m 割れ目による砂状化の2~4%解理化 進む、少量の粘土を含む。
80										0	8	

調査名

孔番・深度

h27B-2 (80 ~ 85)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

深尺 m	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化	変質				
80	80.19		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	γ	3		CL	80.19 ~ 80.48 m: CM 一部のOPK 寄着度の低い割れ目と含まれている 割れ目 挟在物は分布しない。	
	80.48				✓	✓	✓	β	2		CM		
81	81.10		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓ <sub>20</sub>		80.48 ~ 83.12 m: CH 既述の 概ね半風化の寄着度。割れ目には 挟在物 は分布しない。 中層割れ目は、寄着度の低い割れ目とは一部に分布 する程度。 全体で 2 ~ 3% 暗緑色 磁鉄石 (緑泥石) の 晶出に うす。 長石の白濁化は 殆んど 認められない。 81.10 m 81.35 m: 2 ~ 5% の 斑状 状に マクロ 磁鉄石 を 褐色を 調べる。古化は 伴わない。	
	81.35				✓	✓	✓	β	2	✓ <sub>10</sub>			
82	82.10		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓ <sub>20</sub>	CH	82.10 ~ 82.30 m 風化 変質 域に 約 5 ~ 10% の 斑状 状 ~ 10% 脈状 の 石英 の 晶出。上下 位置 相異 磁鉄石 を 含む。	
	82.30				✓	✓	✓	β	2	✓ <sub>23</sub>			
83	83.12		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	δ	3	✓ <sub>60</sub>		82.72 ~ 82.86 m . 57 中に 寄着度の 低い 割れ目 と 含む	
	83.46				✓	✓	✓	β	2	✓ <sub>45</sub>	CL		
84	83.79		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓ <sub>11</sub>	CM	83.12 ~ 83.79 m: CL 83.46 以後は 20 ~ 30 割れ目 の 多。割れ目 中に 砂状化 の 進行。 マクロ 磁鉄石 伴う。若年 自身の 硬さ "D" に 軽化する	
	84.43				✓	✓	✓	β	2	✓ <sub>11</sub>			
85	84.61		7.5TR 1/3 灰褐	7.5TR 1/3 灰褐	✓	✓	✓	γ	2	✓ <sub>12</sub>	CL	83.79 ~ 84.43 m: CM 既述 84.35 ~ 84.30 m 10 ~ 15 割れ目 と 2 ~ 3% の OPK 寄着度の 低い 割れ目 挟在物 は 分布 する。 一部に 中層 割れ目 の 分布 あり。寄着度 高。1/2 ~ 1/3 程度 まで 分離 した。	
	85.50				✓	✓	✓	δ	2	✓ <sub>12</sub>			

16270  
↓  
84  
5  
87





# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	90.45		Gp	2.5YR 4/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E	ε			
05	90.81			2.5YR 4/3 灰褐色					3		
	91.00				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
05	91.69				✓ d	✓ VI	✓ E	ε	4		
	91.70				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
92	92.60				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
	92.78				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
05	93.00				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
93	93.00				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
05	94.00				2.5YR 6/4 緑褐色	✓ III	✓ B	✓ β		10	CH

90.94 ~ 91.69 m : D

- ・割れ目には風化の産物、砂状化部が稀に(20% 90.9)認められる。5~20%の塊状「C」の岩片、珪岩、固結砂状部と基質との「砂状」を呈し、粗粒部には消滅した。90.91m以下は硬く、岩片主体の珪岩塊と割れ目の大半が砂状。割れ目の一部は珪岩(40~60%)主体。
- ・90.50m 60%厚2~3%の石英脈が分布。
- ・91.07m 珪岩には珪岩岩片の割れ目と砂状部の一部がマクロ破砕受付、黒褐色を呈す。
- ・91.04m、91.20m 割れ目厚2.1%の珪岩を主とする珪岩塊に分布。前者はマクロと後者はミクロを呈す。
- ・91.60m以下では3~4%の長石結晶が認められ、20%の珪岩断面に産出する長石は主に断面方向に配列する。

91.69 ~ 91.76 m : 破砕帯 (主断面 91.70m)

- ・91.69 ~ 91.70 m : Hc-1  
51°と5°の産出で、下部は連続的に連続、4~5%の石英粒、4~5%の石英と約4%の珪岩的結晶(8%)を認め、珪岩塊(2.5YR 7/2)と珪岩(2.5YR 5/2)の珪岩塊を呈す。上部側の一部は白褐色とマクロ破砕受付。  
厚3~4%mm
- ・91.70 ~ 91.72 m : Hb  
上部51°の連続的に、下部5°の産出で連続、4~5%の石英粒、4~5%の石英と約2%の珪岩(9.20%)を含む珪岩質珪岩塊を呈す。珪岩(2.5YR 6/4)、厚2~3%mm
- ・91.72 ~ 91.76 m : HJ  
上部51°の産出で、下部95°の連続的に連続、主断面と同方向の産出の割れ目の割れ目が約4~5%の珪岩化している。岩片間には主断面と同方向の幅0.5~1%の珪岩質白色珪岩が分布する。全体は白色珪岩と珪岩質珪岩を呈す。割れ目は幅(2.5YR 6/4)、厚2~3%mm

91.76 ~ 94.00 m : CL

- ・割れ目の産出で、主断面と同方向の産出の割れ目の割れ目が約10~30%の小岩片に含浸性、珪岩化する。
- ・93.00m 以下は厚1~2cmの珪岩質珪岩、93.00m 以下は珪岩質珪岩の割れ目と珪岩質珪岩、厚1~2cmの珪岩質珪岩、珪岩の大半は白褐色、割れ目には珪岩化部が認められ、20%の珪岩質珪岩が分布する。
- ・92.09m の40%の珪岩質珪岩が30%割れ目と主断面の産出で、変位は認められる。
- ・92.10m、70°~92.24m、44°の間は4~5%の岩片状に珪岩質割れ目にマクロ破砕受付を呈す。
- ・92.65m、55°割れ目に幅2%の珪岩質珪岩が認められる。
- ・93.01 ~ 94.13m 珪岩質珪岩の割れ目珪岩質珪岩は分布しない。
- ・94.26 ~ 94.38m、4~5%の珪岩質珪岩質珪岩が一部は35~50%割れ目と主断面の産出で認められる。

94.00 ~ 94.96 m : CH  
全体的に珪岩化している。

調査名

孔番・深度

H27B-2 (95 ~ 100)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05													概ね新鮮であるが、一部割れ目等に風化が認められる 存在物として割れ目に伴って砂質部がある。また割れ目充填物が認められる。
96									27	25			95.46m 割れ目幅 10~15% の褐色化(硬さ)に軟化。上盤側に幅 7% の砂質部を伴った同脈は途中に尖滅した。
05				259Y 5/1 緑灰	b	III	B	β	2		CH		95.90~96.00m 割れ目幅 10~20% の褐色化(硬さ)に軟化。硬工区に軟化部が砂質部は分布しない。
97			Gp						27	15			96.60~96.63m 割れ目幅 10% 程度に淡褐色化、幅 1~2% の砂質部は存在。
05													97.36m 30° 割れ目に淡褐色化と細粒物を含む。下の 97.65m まで高層部の割れ目が多分布。
98	97.96								0	7		CM	97.96~98.48m: CM 割れ目等が割れ目等の砂化も認められる 粘化部も粘化部が少なく、長石の白濁化が多い
05	98.48											CL	98.48~99.31m: CL 割れ目等の砂化部が多分布。 粘土は多量に分布(長石)長石は根元白濁化等 99.44m 以降は新鮮な硬質、以降は風化が軟化(粘)
99									0	9			99.16~99.44m 長さ 10cm 前後の柱状砂質部が中石部に分布する。
05	99.44												99.44~99.90m は割れ目等に風化・砂化等。 粘土は多量に分布(長石)長石は根元白濁化等 特に 99.76m~99.90m 27# 40° 割れ目の砂化が粘土 粘土一部硬工区と低下。
100	99.90 100.00			259Y 5/1 緑灰									

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (100 ~ 105)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 100 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05	100.52			2.5GY 5/1 緑泥	✓ c	✓ V	✓ B	β	2			✓ CL	<p>100.52 ~ 101.32 m: 割目と風化の程度が比較的均一で、硬質で部分的に硬質「B」の残留。長石の風化が著し。</p> <p>100.84 ~ 100.87 m, 101.23 ~ 101.32 m 間には割目と風化の程度が均一で、中硬から硬質に「砂礫状」呈す。</p>
101	101.32				9	✓ V	✓ B	β	3	✓ 0	✓ 4		
05	101.32					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2		✓ CM	<p>101.32 ~ 102.05 m: CM 厚さ均一で、挟持物も分布しない。 一部の硬度の低い割目も分布(2m)。</p>
102	102.05		GP			✓ c	✓ V	✓ c		✓ 0	✓ 6		<p>102.05 ~ 104.65 m: CL 103.70 m 付近で硬質「B」と軟化の境界「c」分布。 103.70 m 付近で硬質「D」と軟化の境界「c」分布。 102.05 ~ 102.41 m, 約 10% 間隔で細く密度の低い中層割目が多。</p> <p>102.41 ~ 102.94 m, 硬質「B」割目と伴って、割目間に 1 ~ 3% 程度の薄く軟化の境界「c」分布する。</p>
05	102.41					✓ b	✓ V	✓ B	β	2			
103	102.94			2.5YR 5/2 灰緑	✓ c	✓ V	✓ B	β	3	✓ 0	✓ 4		<p>102.94 ~ 103.17 m, 20~30% 割目と風化の程度が均一で、割目と軟化の境界「c」分布する。</p>
05	103.17				✓ c	✓ V	✓ B	β	2			✓ CL	<p>103.17 ~ 103.70 m, 割目間の軟化と挟持物の分布は認められる。一部の硬度の低い中層割目が多。</p>
104	103.70			2.5YR 7/2 明黄灰	✓ c	✓ V	✓ D	γ	3	✓ 0	✓ 6		<p>103.70 ~ 104.65 m, 風化の進み、割目を含む全体で軟化傾向。 20% 程度で軟質の白色粘土質の分布がある。</p>
05	104.65				✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 5	✓ CM	<p>104.65 ~ 104.95 m: CM 104.65 ~ 104.95 m 間には硬質で、硬質と硬質の境界は認められる。</p>
105	104.95			2.5YR 5/2 灰緑	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 5	✓ CM	

調査名

孔番・深度

H27B-2 (105 ~ 110)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 105 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05													
106					b	IV	B	β	2	✓ 24	✓ 14	CM	<p>104.14~104.19m 上下端均 40°割れ目に囲み 砕れ目40°~中20~30%細粒化あり。 下端面は白色粘土の2mmの付着。内部は全体に0.5% 以下と微細石英粒の点状分布。</p> <p>105.70~106.03m 割れ目の変遷。中20~30%の粗粒化あり。 各割れ目面には中粒粘土の付着が認められ、120°未 れ化面あり。</p> <p>106.21~106.01m 中層割れ目の多さで硬度は高 く、10°の急打でも分離・細粒化する。最層の低くは 10°の割れ目代り。</p> <p>107.00~107.73m 割れ目の変遷し、中20~30%粗粒化 あり。各割れ目面には中粒粘土の付着が認められ、120°未 れ化面あり。</p> <p>107.15~107.62m: C<sub>2</sub> 割れ目の中3~5%の粗粒化が認められ、砂粒~粘土 塊状の付着が認められ、120°未れ化面あり。 面の割れ目には逆接代り。これは粘土石化変質で粘土化 は伴わない。</p> <p>107.60~115.99m: CM 割れ目の変遷。割れ目の多さ。 110.60m~114.06m 間隔幅10~30% 均等程度の 最層の低く「中層割れ目」も含まれる。 120°未れ化。割れ目線は均等に分布する。</p> <p>108.57~108.60m 40°割れ目に幅1/2程度 の急打あり。上部には塊状粘土の3mmの付着。微 細石英粒の付着あり。</p>
05													
107	107.15		Gp	25YR 6/2 灰濁	x	x	x	x		✓ 17	✓ 17		
05	107.62				b	IV	B	β	2			C <sub>2</sub>	
108										✓ 14	✓ 14		
05												CM	
109										✓ 0	✓ 6		
05													
110										✓ 0	✓ 5		

調査名

孔番・深度

H27B-2 (110 ~ 115)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05													110.40 ~ 110.61 m 白色の「片層割れ目」を以て特徴とし、 1割れ目化 (2割)。
111										0	9		
05													111.37 m 75~80°割れ目と90°割れ目 1~2cm/m 砂状化 5割れ目化 30°割れ目状 砂状化。
112			Gp	2.5R 1/2 灰褐	6	11	B	β	2	11	11	CM	
05													112.41 ~ 112.44 m 50°前後の割れ目と10°前後の 片層化 砂状化 (2割)
113										0	6		
05													113.63 ~ 113.81 m 白色の「片層割れ目」を以て特徴とし、 細かく分布。断面の他側の含有量。
114										0	9		
05	114.37			2.5R 1/2 緑灰									114.37 ~ 115.70 m 緑色系色調に転化する。
115										0	9		114.65 m 80~85°割れ目の一部は全長1mと厚さ0.5cm 以下の暗緑色粘土質の割れ目状。

調査名

孔番・深度

H27B-2 (115 ~ 120)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 115 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
05	115.70		Gp	2.5GY 5/1 緑灰	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ P	CM	<ul style="list-style-type: none"> <li>115.33 ~ 115.70 m: 暗緑色粘板(緑泥石)の片1~2% 斑状に1~4% 脈状に分布する。特に前者の分布が多い。</li> <li>115.70m 以下深部 橙色の正長石の多量に晶出。全体の色調が橙色に変化。</li> </ul>
	115.99			2.5YR 7/4 R2.0 灰緑	✓ c	✓ V	✓ C	β	3	✓ 0	✓ P	CL	
05	116.49		Gp	2.5YR 6/2 灰緑	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ P	CM	<ul style="list-style-type: none"> <li>116.49 ~ 118.47: CM</li> <li>粘板の割目0.5~1.0cm 一部は1~2% 粘板化。一部は粘板に20% 割目分布する。</li> <li>粘板、割目交差部の一部は10~20% 程度に細片状化が認められる。</li> </ul>
	117.00												
05	118.00		Gp	2.5YR 6/2 灰緑	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ P	CM	<ul style="list-style-type: none"> <li>118.12 ~ 118.10: 30~40% 粘板と70~80% 割目交差。粘板の一部は10~20% 程度に片状化(20%)。砂化は粘板にみられる。</li> <li>118.23 ~ 118.42: 20~30% 粘板割目。10~20% 粘板と同様の分布。一部は粘板の厚さ1~2cm 以下に割目状(20%)。</li> </ul>
	118.50												
05	119.00		Gp	2.5YR 6/2 明緑灰	✓ b	✓ IV	✓ C	γ	3	✓ 0	✓ P	CL	<ul style="list-style-type: none"> <li>119.47 ~ 120.00: CL</li> <li>30~40% 割目0.5~1.0cm 以下に1~3cm 間隔に分布する。割目0.5以下は粘板化が認められる。</li> <li>119.75 ~ 119.80: 粘板1% 以下の緑泥石を粘板に浸陽化が認められる。</li> </ul>
	120.00			2.5YR 6/2 R2.0 灰緑	✓ b	✓ IV	✓ C	γ	3	✓ 0	✓ P	CL	

調査名

孔番・深度

H278-2 (120 ~ 125)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	120.53 120.55 120.63 120.65											<p>堅硬 30~50°割れ目0~1cm同方向に分布する。 白・筋状の中等割れ目0.5~1cm同方向に同化。ハ2~9色PTの分離 1cm。一部ハ2~9色同化(ハ2)。 割れ目充填物は分布しない。</p> <p>● 120.63 ~ 120.65m: 破砕帯 (主軸断面120.65m)</p> <p>120.63 ~ 120.65m: H6 上部12~22°湾曲(ハ2), 下部32°近縁的に連続。f2~3%石英粒 中2~10%黄鉄鉱計20%程度含む軟質可塑性粘状土。色調は黄-赤(2.5GY6/1), 厚さ15~25% 120.65m: Hc-1 32°以下端部近縁的に連続。石英粒, 黄鉄鉱, 粘土等含む 軟弱粘土(ハ2)。色調は黄-赤(2.5GY6/1), 厚さ1~3%</p>
	121.03											<p>120.65 ~ 121.03m: CM 堅硬。ハ2割れ目0.5~1cm 充填物は分布しない。 上部側は緑泥石斑土に緑泥色を呈し、古化している 白・筋状の中等割れ目は同方向に同化。ハ2~9色PTの分離 1cm。</p>
	122.23											<p>121.03 ~ 122.23m: CH 堅硬。割れ目少なく、柱状~長柱状(ハ20C~H2E)のハ3 等。 f1~3%暗緑色の緑泥石斑土。色調は緑泥色帯 20。</p>
	122.42											<p>122.23 ~ 122.42m: C2 上部ハ1m同化の連続。筋状の割れ目一部ハ2色化 筋状の中等割れ目ハ2~9色PTの分離・細化(各ハ切多)</p>
	122.97											<p>122.42 ~ 122.97m: CM 堅硬(硬)。一部ハ2~9色PTの分離する中等割れ目は 割れ目厚く褐色化して、塊状物は分布しない。 f5~10%橙色の粗長石斑土を呈し、白濁化(長石)下 縁に分布する。</p>
	123.41											<p>122.97 ~ 123.41m: C2 堅硬。目付変質の古化10等。割れ目少なく、60~70° 割れ目同方向に1~5cm間隔に分布する。 割れ目充填物はほとんど分布しない。</p>
	125.38											<p>123.41 ~ 125.38m: CM 一部は岩層の底ハ割れ目や中等割れ目が分布し、ハ2-9 色PTの分離・細化(分離・細化(各ハ切多)) f2~5%風化・未変質の長石の白濁化(長石)下縁に 分布する。 全体にf1~2%暗緑色の緑泥石斑土を呈し、古化粘 色を帯びる</p>
	124.30											<p>124.30m付近でハ2割れ目同化(ハ2)の連続。このハ2割れ目同化(ハ2)は 人為的変質に由来している。</p>

120  
120  
120  
120

120  
120  
120

↑



調査名

孔番・深度

H27B-2 (125 ~ 130)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
126	125.38		Gp		✓	✓	✓	β	2		CM	125.00~125.30m: 全断面の割れ目が多い。同日2回掘削したため割れ目が多い。	
	125.70			2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓	β	2		CL	125.38~125.70m: CL 割れ目が多い。割れ目の中割れ目あり。0%程度の割れ目分布。125.38mの割れ目と連続。細片化あり。割れ目間には粘土質の多い。125.38mの50割れ目と10%はφ3-5%の浸透細片化あり。→ 粘土質の多い。	
	126.25				✓	✓	✓	β	2		CM	125.70~126.25: CM 一部で割れ目が多い。割れ目の中割れ目ありと連続。割れ目挟持物は分布する。	
	126.97			2.5YR 6/4 灰褐色	✓	✓	✓	γ	3		CL	126.25~127.41m: CL 一部で50~60割れ目あり。φ5%前後の細片化と連続。細片化は厚さ2~2.5%の浸透。白色の浸透粘土は12.2%と多い。 硬さコア主体部は灰褐色(2.5YR 6/2)で連続。細片化と連続部は12.2%の浸透(2.5YR 6/4)の色調で、全体は灰色調の主体。	
	127.41			10YR 7/4 灰褐色	✓	✓	✓	γ	3	0	7	DV Hc-1 HJ	127.00m以下は浸透物は分布する。
128	127.48			✓	✓	✓	γ	3				● 127.41~127.48m: 破砕帯(主断面127.41m) 127.41m: Hc-1 50°以下端部連続的に連続。石英粒、粘土を含む弱粘土(φ2%)。色調は灰白(10YR 8/1)。厚さ0.5~1%。 127.41~127.48m: HJ 上端50°連続的。下端は50~60°湾曲して連続。φ2.5%の細片化は粘土質。粘土質の間には幅1~2%の軟弱粘土の浸透に分布。粘土は浸透の主体。浸透の浸透は浸透。127.48mに主断面と同様の浸透は浸透の浸透。 色調は12.2%の浸透(10YR 7/4)。厚さ40~45%。	
	128.02		2.5YR 6/2 灰褐色	✓	✓	✓	γ	2	0	8	CL	127.48~128.02m: CL 40~60割れ目主体で一部で厚さ1%前後の浸透粘土ありと連続。粘土は浸透する。	
	128.07			✓	✓	✓	γ	2	0	8	CL	128.02~128.07m: 上端60°、下端41°割れ目同様に、φ2~3%の浸透粘土を含む連続的に連続(中粒~粗粒の浸透粘土)。粘土は浸透する。	
129	128.82			✓	✓	✓	γ	2	0	3	DV Hc-2 HJ	● 128.02~128.07m: 破砕帯(主断面128.07m) 128.02~128.07m: HJ 上端30°、下端20°の浸透粘土連続。下端63°の浸透粘土連続的に連続。主断面に平行に斜交割れ目あり。128.02~128.07mに浸透粘土あり。φ3~10%の浸透粘土あり。粘土質の間には幅1~2%の軟弱粘土の浸透に分布。粘土は浸透の主体。浸透の浸透は浸透。128.07mに主断面と同様の浸透は浸透の浸透。 色調は灰赤(2.5YR 6/2)。厚さ50~90%。	
	128.97		2.5YR 7/1 明褐色	✓	✓	✓	γ	2	0	3	CL	128.07~128.08m: Hc-2 63°以下端部連続的に連続。φ1.5%の石英粒と粘土は20%程度の浸透粘土(φ2%)。色調は12.2%の浸透(5YR 7/1)。厚さ3~5%。	
	129.26			✓	✓	✓	γ	2	0	3	CL	128.08~128.97m: HJ 上端63°、下端62°の浸透粘土連続的に連続。下端は幅2%の浸透粘土の浸透。60~70°と10~30°割れ目あり。φ5~15%の浸透粘土あり。粘土質の間には幅1~2%の軟弱粘土の浸透に分布。粘土は浸透の主体。浸透の浸透は浸透。 色調は灰赤(2.5YR 6/2)。厚さ60%。	
	129.95			✓	✓	✓	γ	2	0	4	CM	128.97~129.95m: CL 129.95~130.09m: CM	

126  
127  
128

↑





調査名

孔番・深度

H27 B-2 (140 ~ 145)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 140 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化	変質			
	140.04				α	β	γ	δ	ε	3		
05												
141										5		
05												
142			GP	25R 1/1 褐灰						5		
05												
143	142.81				x	x	x	x	x	4		
05												
144										7		
05												
145	144.90				x	x	x	x	x	6		

140.04 ~ 142.85 (141.12 厚210cm) 起り 砂岩の比  
部は分り(20%) 割れ目の厚1~5% 程度に  
4~3% 砂岩の片状化が認められる。  
割れ目は密着度の低い「中層割れ目」の傾向が認めら  
れる。粘土の層割れ目も認められる。

141.10 ~ 141.18 40° 割れ目の砂岩化、φ 6~10% 硬  
質部(硬質部)も認められる。

141.96 ~ 142.23 互いに15° 程度で60° 及び30° 程度の  
割れ目の軸の向き(φ 5~10% 程度の砂岩化)と、  
密着度の低い「中層割れ目」の一部厚1~2% 程度の砂岩化  
粘土の層割れ目も認められる。

142.81 ~ 144.90 割れ目の傾向は上下位に比べ一方向に  
あり、密着度の低い「中層割れ目」も認められる。

143.57 ~ 144.90 上端60°、下端70° 割れ目の  
傾向が砂岩化、粘土化等認められる。  
粘土化の傾向は「中層割れ目」のφ 5~10% 程度の砂岩化  
黄鉄鉱、60° 厚1.5~10% 石英の層割れ目も認められる。

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 145 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分			
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質		
	05	145.65		7.5YR 8/1 褐灰	✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	2		✓ 0	3	CV	
146	05				x	x					✓ 0	3		145.65 ~ 146.26 m: D 上部は割れ目と風化の跡は、粘り砂状で、5~20%の残留物と片の多い砂状の硬質砂岩を呈し、一部は少量の暗緑色の粘り砂岩に分布。 145.74 ~ 146.00 m, 146.91 ~ 147.50 m は硬質「D」部、147.91 ~ 148.01 m は硬質「C」部、中部に分布。
147	05		Gp	7.5YR 7/2 明褐灰	✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	2	D	146.65 ~ 146.91 m, 深度2倍に残留物と片量が増加し、146.91 ~ 147.50 m 硬質「D」部は上部の割れ目と風化の跡を連ねる部を含む。
	05	147.91			x	x					✓ 0	4		147.65 m, 55° 割れ目に厚さ 7.0 ~ 2.0 cm 暗緑色の緑泥石脈 122 本、砂状 - 砂状化 (c) あり。 147.91 ~ 148.01 m 硬質「C」と硬質「D」部、割れ目は多量に粘り砂岩に分布 (可)。
148	05	148.26			✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	4	C2	148.26 ~ 148.19 m: C 上部55° 下部50° 両者 130° 方向に割れ目 (D) あり。 148.68 m 厚さ 3% 暗緑色の砂状 - 砂状の粘泥石脈 122 本、同脈は粘り物 (P=1%) の付着は少量あり。
	05	149.19			✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	2		✓ 0	6		148.94 m 以下、割れ目に厚さ 2% の砂状化部を含む。
149	05	149.69			x	x					✓ 0	5	D	149.19 ~ 149.69 m: D 割れ目と風化の跡は粘り砂状で、粘り砂岩中 10% 前後の硬質「D」部を呈し、砂状化を呈し、粘り砂岩の硬質部、粘り砂岩の硬質部、下部の 149.69 m 以下 40 厚さ 1% 暗緑色の砂状 - 砂状の粘泥石脈 122 本。
150	05	150.00		7.5YR 8/1 褐灰	✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	5	CC	149.69 ~ 150.00 m: C 硬質「C」と「D」の部片あり。 149.69 ~ 150.22 m は硬質「C」部、割れ目一部は砂岩に分布。

20 ~ 146 m - P 2. (C7 = 30.0)

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 150 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
150	150.00		Gp	2.5YR 6/1 褐灰	✓	✓	✓			2		C <sub>2</sub> ✓
	150.22			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			3		
151	150.52		Gp	2.5YR 6/1 褐灰	✓	✓	✓			2		C <sub>2</sub> ✓
	152.10	152.11		152.15	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4	
152	152.51		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2		C <sub>2</sub> ✓
	152.10	152.11		152.15	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4	
153	153.59		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2		C <sub>2</sub> ✓
	153.60	153.76		2.5YR 4/1 暗緑灰	✓	✓	✓			3		
154	154.53		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			3		D <sub>1</sub> ✓
	154.58	154.71		2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		
155	154.53		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			3		D <sub>1</sub> ✓
	154.58	154.71		2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		

150.22 ~ 150.52 m. 上下の境界に「破砕」に類似する。下部の150.52 m 12.40% 幅の2% ~ 3% 程度の緑泥石化。細粒の黄鉄鉱を伴う。

150.52 ~ 152.10 m 破砕にて、一部で割れ目面に沿って同様の同化は弱く、割れ目境界に沿って分布する。

150.52 m 以降は黄鉄鉱中の1% 程度の緑泥石化点が見られ、割れ目の面は「黄鉄鉱」の緑泥石化と共に「黄鉄鉱」の結晶化の黄鉄鉱のみ。

151.40 ~ 151.60 m. 割れ目の「黄鉄鉱」の10% 程度の黄鉄鉱の結晶化。割れ目の面は「黄鉄鉱」の付着に由来する。

152.10 ~ 152.15 m: 破砕帯 (主として断面152.11 m)

152.10 ~ 152.11 m: H<sub>1</sub>  
上部60°、下部18°の方向に連続。主として断面と垂直に割れ目が多く、15~10% 程度の「破砕」に由来する。色調は「黄鉄鉱」(5YR 7/2) 厚2.15 mm

152.11 m: H<sub>2</sub>-2  
60°で上部と連続的に連続。1~2% の黄鉄鉱結晶は約20% 程度含む黄鉄鉱結晶(4YR 7/2)。厚1 mm 暗緑石色。

152.11 ~ 152.15 m: H<sub>1</sub>  
上部60°で連続的に、下部55°で波打って連続。10~5% 程度の黄鉄鉱(一部10%)。黄鉄鉱は結晶化と結晶化「黄鉄鉱」の黄鉄鉱に由来する。色調は緑灰(10YR 5/1) ~ 明褐灰(2.5YR 7/2)。厚20~50 μm

152.15 ~ 153.59 m: C<sub>2</sub>  
同化の全体は「破砕」に類似する。割れ目が多く、152.51 m 以降は主に黄鉄鉱の割れ目に10~20% 程度の黄鉄鉱が主成分。割れ目の一部は約1% 程度の黄鉄鉱に由来する。153.30 ~ 153.57 m 緑泥石化の連続。一部の割れ目には結晶化の黄鉄鉱に由来する。

153.59 ~ 154.53 m: D<sub>1</sub>  
同化の割れ目面に沿って結晶化の程度。黄鉄鉱の割れ目は黄鉄鉱に由来する。154.00 m 以降は「黄鉄鉱」の結晶化と結晶化の黄鉄鉱の「黄鉄鉱」に由来する。154.00 m 以降は黄鉄鉱の結晶化が多くなる。

154.60 ~ 153.76 m は緑泥石化の程度は約1% 程度の結晶化に伴って「黄鉄鉱」の結晶化の程度は約1% 程度に由来する。

154.53 ~ 154.71 m: 破砕帯 (主として断面154.58 m)

154.53 ~ 154.58 m: H<sub>1</sub>  
上部60°、下部15°の方向に波打って連続。10~5% の黄鉄鉱、10~10% 程度の黄鉄鉱の結晶化。20~30% 含む黄鉄鉱結晶(4YR 7/2) 主成分。中央の黄鉄鉱結晶は粗粒。色調は上部の明褐灰(5YR 7/2) 中央・下部(5YR 7/2)。下部は黄鉄鉱(5YR 7/2) 結晶。厚40~50 μm

↓  
150  
151  
152  
153  
154  
155

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
155	155.00											
0.5				2.5YR 7/2 明褐灰								
156	156.00				✓	✓	✓	✓	3	✓	✓	
0.5												
157			Gp	7.5YR 6/2 灰褐色						0	✓	
0.5												
158	158.00									0	✓	
0.5				10.5Y 5/1 緑灰	✓	✓	✓	✓	3			
159										0	✓	
0.5												
160	160.00									0	✓	

154.58 m: 15c-1  
 36° 上端は15c-1にて、下端は直線的に連続。φ1~2% 石英粒  
 と石膏(5%以内)を含む軟質粘土(6%以下)。色調は上下端別  
 6% 褐灰(7.5YR 6/2)、中央は灰赤(2.5YR 6/2)の傾向にあり。  
 厚さ5%。

154.58~154.71 m: 15d  
 上端は36°直線的、下端は64~70°で湾曲(急角)連続。50~70°  
 との傾斜を有する。φ3~5%の細小片状化。薄片間  
 には幅1~3%の明緑灰~緑灰色の軟質粘土状石膏、また石膏  
 には幅1%の軟質粘土石膏の分布。全体は2%粘土  
 液の薄片状と呈す。色調は15c-1に似て(7.5YR 7/4)~  
 明緑灰(10.5Y 5/1)、厚さ5%。

154.71~155.00 m: 15e  
 軟化部(石膏)の割れ目あり  
 155.00 ~ 162.00 m (20m): 15f  
 割れ目には暗緑灰色の緑泥石と呈す。  
 中には、157.89 ~ 160.00 mにて緑泥石の層(色調同く  
 緑灰色と呈し、厚さ2~20%の軟質粘土状石膏部を有  
 する)。

156.25 ~ 157.80 厚さ1~8%のφ2~3%の細片状  
 石膏に緑泥石の軟質粘土部を有す。

156.72 ~ 157.80 厚さ1~10%の固結部あり。  
 φ1~2%の石膏薄片状部を15c-1上下に方向に連続す。  
 下端は158.24 mにて、下端面は鏡面と軟泥石粘土状  
 と呈す。

158.00 ~ 158.20 m φ5~10%の軟質石膏部と固結部  
 あり。158.20 mにて軟質石膏と呈す。

159.06 ~ 159.33 m 割れ目には暗緑灰色の軟質粘土の  
 緑泥石の厚さ2~20%の分布。  
 石膏の軟質石膏の軟質粘土。色調は15c-1に似て、  
 160.00 mにて呈す。

159.78 m 10~80 厚さ1~10%の石膏の厚縮(石膏)  
 連続部。

調査名

孔番・深度

K27B-2 (160 ~ 162)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (60 m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調 16a00	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	160.12							γ					<p>160.00 ~ 161.68m 緑泥石化は部分的、一部の割れ目の縁に緑泥石化の程度は割れ目の縁に著しい。</p> <p>160.81m、70°厚2.5mm 白色結晶性(方解石)の分布、その上部と下部の厚2~3mm 固結した緑泥石化を伴う。</p> <p>160.78 ~ 161.01m は φ 5~30µm の中に29ヶ所採取したものは各層の一部分は割れ目の縁にのみ付着している。</p> <p>161.68m 以下は割れ目縁に暗緑色の緑泥石化、割れ目の縁に緑泥石化の粘土の付着が認められる。全体のφ10~50% と細く研ぎ出し、若干の硬質と硬質の付着。</p> <p>(2枚)</p>
0.5	160.50			2.5YR 5/4				δ	3				
	160.75		GP ✓	11.5YR 7/4				γ	3				
161									0	3	CL		
0.5	161.68			10.5Y 5/1 緑灰				β	γ	3			
162										0	4		



余白

